

町立図書館おすすめBOOK

# 新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から  
おすすめのをピックアップ。  
バラエティーに富んだ  
新刊を紹介します。

## 町立指江図書館 / 電話 0996-88-6500



### 何のために生きるのか

五木 寛之 稲盛 和夫 著

昭和7（1932）年生まれのパストセラール作家と京セラ創業者が、人間、宗教、日本人について語り尽くした書。戦争体験は、2人の心に決定的な教訓を植えつけました。一瞬にして目の前のものが崩れ落ちる喪失感や、人々が喘ぐ地獄絵図は、心の奥底に確固たる信仰心を育むことの大切さを痛感させたと言います。

## 町立鷹巣図書館 / 電話 0996-86-1111

### 幸福ロケット

山本 幸久 著



「コーモリ。あのあと、なにをいおうとしたの？あれは別れの言葉だったの？わかりづらいよ！」京成電車の中で、ホームのしたで、言葉にならない言葉がこぼれてく。時間はもう止まらない。胸にこみあげてくるものを感じながら、あたしは走り続ける。確かめなくちゃ、聞かなくちゃ。——誰も知るはずのない“未来の笑顔”をコーモリがくれたから……  
小説すばる新人賞作家の最新作！

# 長島文芸

## 明神俳句会

過疎の村には無くとも五月鯉	筑前 初市
娘に持たす合わせ鏡や夏手袋	山寄加代子
わが歩む径かも知れぬ母子草	平山 勝子
せがまれておんぶ背中の蛭狩り	江口 令子
するすると蜘蛛の降り来る月明かり	平山 風鳥
氏神の主となりある蜘蛛の家	関 佳代美
夕風や釣り人岬の岩となる	大堂 早苗
パタパタと団扇が主役の焼鳥屋	坂木 基廣
青薄ダムは白紙に戻りけり	二階堂妙子
くもさんのお家はダイヤモンドかな	二階堂真瑚

## 長島短歌会

釣り上げしアラカブの如口開けて	岩富八代子
呼吸さがすなり五体あまねく	
長閑なる川原に近く鮎群れて	
跳ねつつをれば鳴ら巡りぬ	岩下 千恵
梅雨寒の朝に響く不如帰	
もの思ふわれの心揺るがす	米尾 和子
唐黍の葉擦れの音も強くなり	
夏も身近に迫りて来たり	長野 敬子
獅子島を臨む郷島久々に	
来たれば父母の野良姿顕つ	中山タマエ
群れなして匂ひ放てる白百合の	
皐月の庭に浮き立ち見ゆる	浜田美代子

子等絶えし山の校舎に春めぐり	濱畑 松枝
白木蓮の高木花咲く	
萌えいずる木々の芽吹きは彩なして	
朝光に映ゆ吾が庭の辺に	林 妙子
栗の殻つけたるままに幼木の	
天に向かふを見つつ土寄す	林 ヒロ
幾年も農を助けしトラクター	
廃車となる今朝涙の出づる	町田キクエ
家計簿のよすみに西瓜植えし日を	
記して実の生る夢ひとつ待つ	松元 睦子
雨上がりドクダミの花白清し	
葉草なるも可憐に咲きて	吉田 映子